

学力チェックテストを活用していますか？ 学力チェックテストは、これまでの一ヶ月間で学習した内容を復習できるテストです。このテストを使って今までの学習で身についたところ、忘れてしまっていたところをしっかりとチェックしてみてください。わからなかったところは、もう一度テキストやノート、動画を見直してもう一度学習しておきましょう。

第33回～第36回では、論説文を学習することを通して、「理由」の読み取り方や「対照的内容」の部分どうしの対比関係、「似た内容」として言いかえの関係の読み取り方に取り組みます。

また、語句単元では「上位語・下位語」「対義語・同義語」「多義語」を学習し、言葉の関係性に注目する言葉や、言葉の意味・使い方に注目した知識に関して学びます。

◆第33回 論説文 理由②／上位語・下位語

今回も引き続き、「理由」について学習していきます。原因と結果の関係にもさまざまなつながりがあります。前回学習した理由の手がかりを活用しながら、原因と結果がどのようなつながりになっているのか考えてみましょう。

また、「読む」「書く」ツールでは「上位語・下位語」を学習します。抽象的な言葉・具体的な言葉の関係をつかめるようになりましょう。上位語・下位語の使い分けは文章読解でも記述問題を答える時などにも役に立ちます。

- ①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

文章①・・・課題1～3

「読む」「書く」ツール・・・①～③

- ②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①の②（文章題）・・・1～4

「読む」「書く」ツール・・・①～④

- ③「計算と漢字」必ず解いてみよう。

第三十三回

- ④「本科教室」この問題にチャレンジ。

文章①・・・オプション 探求

文章②・・・1～3 ※動画内で解説しています。

◆第34回 論説文 対照的内容①／対義語・同義語

今回は対照的内容について学習します。文章の中でいくつかの内容を比べ、ちがいが述べられている部分のことを「対照的内容」といいます。文章の中で対照的な内容をつかみ、筆者の意図をとらえられるようになることが目標です。

また、「読む」「書く」ツールでは「対義語・同義語」を学習します。対義語は対照的内容をとらえる上でも役に立つ知識です。言葉の関係に注意してしっかりと覚えていきましょう。どちらも熟語としての漢字の知識を広げることにつながる言葉です。漢字の意味にも目を向けて考えてみましょう。

- ①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

文章①・・・課題（対照的内容を整理する問題）

「読む」「書く」ツール・・・①～④

- ②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①の②（文章題）・・・1～3

「読む」「書く」ツール・・・①～④

- ③「計算と漢字」必ず解いてみよう。

第三十四回

- ④「本科テキスト」この問題にチャレンジ。

文章①・・・オプション 探求

文章②・・・1～4 ※動画内で解説しています。

◆第35回 論説文 対照的内容②／多義語

今回も前回同様「対照的内容」について学習します。前回学習した知識をつかって、対照的内容をつかみ、筆者の意図や意見をとらえられるようになることが目標です。

また、「読む」「書く」ツールでは「多義語」を学習します。一つの言葉でたくさんの意味を持つ言葉のことを「多義語」といいます。多義語は文脈によって意味にちがいがでてきます。どのような意味になるのかをしっかりとつかめるようになりましょう。

- ①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

文章①・・・課題（各意味段落の内容を整理する問題）

「読む」「書く」ツール・・・①～③

- ②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①の②（文章題）・・・1～4

「読む」「書く」ツール・・・①～③

- ③「計算と漢字」必ず解いてみよう。

第三十五回

- ④「本科テキスト」この問題にチャレンジ。

文章①・・・オプション 探求

文章②・・・1～4 ※動画内で解説しています。

◆第 36 回 論説文 似た内容／四字熟語

今回は前回の「対照的内容」とは反対の似た内容をおさえて、共通点をまとめていきます。「似た内容」とは、具体的に言いかえたもの、抽象的にまとめたもの、比喩などを用いて表したものなど様々な形で使われています。文章全体の話の流れを理解することにもつながりますので、ていねいに文章を読み進めていくことを目指しましょう。

また、「読む」「書く」ツールでは「四字熟語」を学習します。たくさんの言葉がありますので、四字熟語の読み書き、使い方と意味をしっかりと覚えておきましょう。

- ①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

文章¹・・・課題 1～3

「読む」「書く」ツール・・・¹～⁵

- ②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①の²（文章題）・・・1～3

「読む」「書く」ツール・・・¹～⁴

- ③「計算と漢字」必ず解いてみよう。

第三十六回

- ④「本科テキスト」この問題にチャレンジ。

文章¹・・・オプション 探求

文章²・・・1～3 ※動画内で解説しています。

梅雨の時期になり、すっきりとした良い天気の日があると、ころがうきうきしますね。この時期は体調面に気をつけて、日々の学習に取り組みましょう。第33、34回は文章題。ともに、ある程度「型にはまった解法」というものがあります。問題に取り組むことによって、「解法」を自分のものにしていきましょう。また、第35、36回は割合。いよいよ抽象的な概念を学ぶことになります。「～倍」をあらわす数が何度も出てきますが、基準となる数に注目しながらがんばっていきましょう。各回の学習の目安は以下の通りです。

◆第33回 文章題 ～線分図と式～

今回は消去算に取り組みます。線分図で取り組むにしろ、式で取り組むにしろ、大切な視点は「共通点」と「相違点」に着目することです。なぜ、差があらわれたのかを意識しながら取り組んでください。

また、「セット」で変化していきますので、数をそろえるときは、「最小公倍数」を利用することになります。

まずは、栄冠への道「思い起こし②」をしっかりと確認して、理解を深めましょう。

① 「本科教室」ここだけは押さえておこう。

学び①②③④、知識技術①～⑤

② 「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①・・・①～⑥

③ 「本科教室」「栄冠への道」この問題にチャレンジ

本科教室・・・思考技法①, ③, ④

栄冠への道・・・学び直し③①, ③

ひとりで問題と向きあうための準備①～⑤

◆第34回 文章題 ～1あたりの差と全体の差～

今回は差集め算・過不足算に取り組みます。小さな差の集まりが、大きな差につながっています。その様子を線分図や面積図などのツール（道具）を利用しながら明確にしていきましょう。

まずは、栄冠への道「思い起こし②」をしっかりと確認して、理解を深めましょう。

① 「本科教室」ここだけは押さえておこう。

学び①②③ 知識技術①～③

② 「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①・・・①～③

③ 「本科教室」「栄冠への道」この問題にチャレンジ

本科教室・・・思考技法①, ②, ③

栄冠への道・・・学び直し③①, ②

ひとりで問題と向きあうための準備①～⑦

◆第 35 回 割合 ～割合とは～

今回から「割合」を学習していきます。2つの量とともに具体的に表すのではなく、一方の数を「他方の□倍である」というように表されます。これを式にあらわしたのが、「割合＝比べる量÷もとにする量」でしたね。そこで比べる量もとにする量を見分けられないといけません。この単元から、算数に苦手意識をもつ人が増えてきます。みなさんは、苦手にならないように、はじめのうちに理解を深めておきましょう。

まずは、栄冠への道「思い起こし②」をしっかりと確認して、理解を深めましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

学び①②③④ 知識技術①～⑤

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①・・・①～④

③「本科教室」「栄冠への道」この問題にチャレンジ

本科教室・・・思考技法①, ②, ③, ④

栄冠への道・・・学び直し③①, ②, ③

ひとりで問題と向きあうための準備①～⑦

◆第 36 回 割合 ～割合と線分図①～

第 35 回では、割合を求めることだけに取り組みましたが、今回は「割合」「比べる量」「もとにする量」の関係について学びました。この3つの関係は理解できていますか？割合ができるようになるには、「日本語を正しく理解できるようになる」という側面があります。さらに、変化の様子も割合を使ってあらわされますね。混乱しそうですが、あせらずに取り組んでいきましょう。

まずは、栄冠への道「思い起こし②」をしっかりと確認して、理解を深めましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

学び①②③ 知識技術①～⑥

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①・・・①～⑥

③「本科教室」「栄冠への道」この問題にチャレンジ

本科教室・・・思考技法①, ②, ⑤

栄冠への道・・・学び直し③①, ②

ひとりで問題と向きあうための準備①～④

発展講座で扱う問題は応用力を必要としますので、問題によっては難しいと思いますが、動画を見ながらしっかりと学習していきましょう。

◆第33回 文章題 ～線分図と式～

今回の学習は、中学校で学習する「連立方程式」につながる考え方です。しかし、心配は無用です。コツをつかめば、大きな力になりますので、がんばりましょう。

そのコツとは、「文章に書かれていることを倍数関係に注意しながら、○や□や△を使って式に表す」、そして、「○や□や△の数を最小公倍数を意識して同じ数にそろえる」、あとは、「差に注目する」あるいは「等しいものを置きかえる」ということを順にしていけば、正答にたどりつきます。この回で、最小公倍数の使いかたをマスターしておきましょう。

◆第34回 文章題 ～1あたりの差と全体の差～

今回の学習は、「差集め算・過不足算」です。これらは、「1つ分の差」と「差の集まり」に注目して解いていく問題です。「ちりも積もれば山となる」ということわざがイメージにぴったりですね。「1つ分の差」と「差の集まり」を図に整理して関係をとらえ、式を立て、解いていく流れになります。この流れをつかめるように、練習を積み重ねていきましょう。

◆第35回 割合 ～割合とは～

割合は、2つの量を「何倍であるか」で比べる時の考え方です。そのため、2つの量のうち、どちらが「もとにする量」なのかを判断しないとはいけません。つまり、「大きい数÷小さい数」のときもありますし、「小さい数÷大きい数」のときもあります。感覚的に、ついつい「大きい数÷小さい数」をしてしまいがちですが、それではいけません。文章をしっかりと読み取って、どちらが「もとにする量」になるのかを判断することがとても大切になります。

◆第36回 割合 ～割合と線分図①～

第35回では、割合を求めることだけに取り組みましたが、今回は「割合」「比べる量」「もとにする量」の関係について学びました。この3つの関係は理解できていますか？割合ができるようになるには、「日本語を正しく理解できるようになる」という側面があります。さらに、変化の様子も割合を使ってあらわされますね。混乱しそうですが、あせらずに取り組んでいきましょう。

まずは、栄冠への道「思い起こし②」をしっかりと確認して、理解を深めましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

学び①②③ 知識技術①～⑥

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①・・・1～6

③「本科教室」「栄冠への道」この問題にチャレンジ

本科教室・・・思考技法1, 2, 5

栄冠への道・・・学び直し③1, 2

ひとりで問題と向きあうための準備1～4

これまで、身の周りの生物や星の動き方など、主に観察した結果をもとに分類の基準や動くときの法則を考えてきました。

6月、理科では「水溶液の性質」「気体の性質」「溶解度」「物体の運動（ふり子・坂を転がる物体）」について学びます。

日常生活では、水溶液や気体についてあまり深く考えたことの無い人が多いでしょう。様々な新しい知識と出会うことになります。一つひとつ、正確に覚えていきましょう。

また、計算問題では、どのような規則に基づいて計算するのかを理解することが大切です。考え方や計算式を書き残すことで、理解が深くなります。意識して取り組みましょう。

◆第24回 いろいろな水溶液

水に何かをとかした液を「水溶液」といいます。代表的な10種類の水溶液を、様々な特ちょうをもとに分類してみましょう。特に、リトマス紙やBTB液などの指示薬について、正しく変化を覚えておきましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう

- ・水溶液とはどのような液体なのか理解しよう。
- ・代表的な10種類の水溶液について、性質を覚えよう。
- ・指示薬の色の変化の様子を覚えよう。

②「本科教室」「栄冠への道」必ず解いてみよう

- ・「本科教室」…オプション探求
- ・「栄冠への道」…学び直し①、学び直し③

③「栄冠への道」この問題にチャレンジ

- ・学び直し②

◆第25回 気体をつくって集める

酸素と二酸化炭素について、性質や発生させるための薬品などを覚えましょう。

また、気体の発生装置と集め方について、装置の仕組みや、いろいろな集め方がある理由を考えてみましょう。

さらに、発生の仕組みから、薬品の量と気体の発生量の間に規則性があるとわかります。すると、気体の発生量を計算で予測できることになりますね。様々な場合の発生量を計算で求めてみましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう

- ・酸素と二酸化炭素の性質を覚えよう。
- ・気体の発生装置と集め方について、なぜ、そのようにするのかを考えてみよう。
- ・酸素や二酸化炭素の発生量や、発生に必要な薬品の量を計算してみよう。

②「本科教室」「栄冠への道」必ず解いてみよう

- ・「本科教室」…オプション探求
- ・「栄冠への道」…学び直し①、学び直し③

③「栄冠への道」この問題にチャレンジ

- ・学び直し②

◆第26回 物質のとけ方

食塩やホウ酸などを水に溶かしたとき、水に溶ける量(溶解度)の変化のようすを理解し、温度を変えたとき・水を蒸発させたときなど、水溶液にどのような変化が起こるのかを考えてみよう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう

- ・ものが水にとけるとき、どのような現象が起こっているのか理解しよう。
- ・水の量と溶かせる量が正比例していることを使って、いろいろな量の水にとかせる限度を求めよう。
- ・温度が変化した時の溶解度の変化のようすをグラフや表などから読み取り、一度溶けた物質が固体にもどるとき、どのくらいの量の固体が出てくるのかなど、水溶液の様子がどのように変化するかを考えよう。

②「本科教室」「栄冠への道」必ず解いてみよう。

- ・「本科教室」…オプション探求
- ・「栄冠への道」…学び直し①、学び直し③

③「栄冠への道」この問題にチャレンジ

- ・学び直し②

◆第27回 物体の運動

ボールが坂道を転がり落ちていくときや、ふり子（おもりのついたひも）がゆれるとき、動き方にどのような規則があるのかを考えてみましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう

- ・斜面(坂)を転がる物体の速さが、どのように変化するのかを考えましょう。
- ・ふりこの動きについて、どのように速さが変化しているのか、また、1往復にかかる時間(周期)が、ふりこの長さとともにどのように関係しているのかを考えましょう。

②「本科教室」「栄冠への道」必ず解いてみよう。

- ・「本科教室」…オプション探求
- ・「栄冠への道」…学び直し①、学び直し③

③「栄冠への道」この問題にチャレンジ

- ・学び直し②

◆第24回 日本の農業

- ①は軽く。ざっと目を通すだけでよいです。
- ②では、日本の稲作について学習します。米は主食です。しかしその生産は減少傾向にあります。日本で稲作のさかんな地域や品種などを確認しておきましょう。
- ③では、日本の畑作について学習します。とくに野菜に関すること（促成栽培、抑制栽培、近郊農業）、くだものに関することは、入試にも出やすく大切です。
- ④では、畜産業について学習します。家畜（乳用牛、肉用牛、ぶた、ブロイラー、採卵鶏）の飼育頭羽数の多い都道府県は必ずおさえましょう。また乳用牛を飼育する酪農については入試にもよく出ます。

【これもおさえておこう！】

☞オプション 探求・シナジー

（むずかしければ解答を読んで内容を確認しておきましょう。）

☞白地図作業ノート P18（農業のさかんな地域）

◆第25回 日本の水産業

- ①では、日本で水産業がさかんな理由および「世界の国々の漁獲量」、「おもな水産物の輸入額の割合」のグラフをしっかりと参照しておきましょう。日本は世界有数の魚介類の輸入国でもあります。
- ②では、日本のおもな漁場について学習します。三陸沖や東シナ海でなぜ漁業がさかんなのかを理解しましょう。また、おもな漁港とそこでとれる水産物を覚えましょう。コラムも確認しておきましょう。
- ③では、日本の水産業の移り変わりについて学習します。遠洋漁業が1970年代に衰退していく理由は各種テストでよく出題されます。
- ④では、いわゆる「育てる漁業」について学習します。養殖業と栽培漁業のちがいを説明できるようになっていることがのぞましいでしょう。また「養殖物のおもな産地」のグラフをしっかりと確認しておきましょう。

【これもおさえておこう！】

☞オプション 探求・シナジー

（むずかしければ解答を読んで内容を確認しておきましょう。）

☞白地図作業ノート P20（漁港と養殖地）

◆第26回 食料生産をめぐる問題点

- ①では、日本の食生活が洋風化してきたことについて学習します。1950年代後半から1970年前半にかけての高度経済成長期のころに洋風化がすすみます。
- ②では、いわゆる「食料自給率」について学習します。おもな食料品の最新の自給率をテキストの表をもとに覚えていきましょう。
- ③では、②で学習した「食料自給率」が低いとどのような問題があるのかを学習します。食料自給率が低いということは、国民の食料を十分に確保することが国内ではできないということなのです。政府は食料自給率をあげるにはどうすればいいのかを考えています。
- ④では、現在の日本がかかえる食料をめぐる問題を学習します。食品ロスということばを聞いたことがありますか？ コンビニ、飲食店などでの売れ残りや家庭での食べ残しなどがそうですね。「社会探検」には、SDGs に関しての話題がのっています。是非読んでみましょう。

【これもおさえておこう！】

📖 オプション 探求・シナジー

(むずかしければ解答を読んで内容を確認しておきましょう。)

◆第27回 日本の軽工業

- ①では、工業の種類について学習します。テキストにある表をしっかりと確認し、分類できるようになっておきましょう。
- ②では、せんい工業のようすやあゆみについて学習します。明治時代に富岡製糸場や大阪紡績会社が設立され、それから昭和時代の前半まで日本の工業の中心を担っていたせんい工業。いまではその中心はアジアなどの海外に移っています。
- ③では、食料品工業のようすについて学習します。インスタント食品や冷凍食品、菓子などをつくる工業ですね。
- ④では、製紙・パルプ工業について学習します。入試に出るのは、静岡県富士市でさかんであること、伝統的工芸品の和紙の原料がこうぞ、みつまたであることです。

【これもおさえておこう！】

📖 オプション 探求・シナジー

(むずかしければ解答を読んで内容を確認しておきましょう。)